

一括質問方式（文責本人）

隣接自治体との 総合支所間どうしの 互恵関係構築を

問……………

隣接自治体の本庁舎間の連携交流はもちろんのこと、隣接総合支所や市境地域どうしの連携・交流の現状は。また、職員の相互派遣交流や事業の共同取り組みの促進、地域の相互活性化で緊密な互恵関係の構築を図るべきではないか。

答……………

当市の宮守総合支所と隣接する花巻市の「大迫総合支所」とは、市道長崎線が昨年12月から道路管理、冬期間の除雪作業等を一体的に行い、地域の連携・交流では、宮守町の湯屋自治会と大迫町の落合自治会が平成21年度から3ケ年、同市道の草刈りや支障木の撤去

作業を協働で実施し、両地域から喜ばれ、住民ニーズへの速やかな対応や利便性の向上につながっている。

「東和総合支所」とは、平成元年からの「田瀬湖湖水まつり」への協力や、田瀬湖一斉清掃&ごみ川柳大会などの事業を合同で行っている。

隣接自治体と当市の総合支所とは、地元の地域づくりの実績を裏付けに、今後も観光や地域振興に向けてしっかりと連携し、特にSL運行プロジェクトでは、東和総合支所とはいつそう連携を深めていかなければならない。

小規模直売所等への 支援策創設を

問……………

補助事業で建設・供用されている風の丘・めがね橋直売所・産直ともちゃん・夢産直かみごうなどの大きな産直施設とは別に、見落とされがちな自助努力で運営されている小規模な直売所等へ、生産者の公平・平等の観点から市単独の補助支援制度を創設する考えはないか。

答……………

財政状況が厳しい中で限界はあるが、公平・平等という中であってそのような方々にも極め細かにピンポイント

で支援することは大事なことである。様々な団体・協議会等の決算で繰越金が多い実態があるが、現状の仕組みをもう一度しっかりと検証して、行政だけではなく関係機関と連携しながら、少しでも背中を押して応援し、地域のコミュニティづくりにつながる取り組みに、小規模でも懸命に頑張っている直売所施設の支援に努めて参りたい。

【その他の質問】

●「原付バイク等へのご当地デザインナンバープレート」の導入について」



東和総合支所



大迫総合支所

一層の連携・交流が望まれる花巻市の東和総合支所と大迫総合支所

瀧本 孝一 議員
(新興会)



一括質問方式（文責本人）

市内商業の現状と 振興対策は

問……………

市内商業が低迷傾向にある中、空き店舗対策や商店街に対するソフト事業への助成等強化が重要と思うが現状をどの様に捉え、振興対策を講じていくのか。

答……………

商工会への創業相談件数は増加傾向にあり、20から30代の若手創業者が増えている。遠野すずらん振興協同組合やみやもり商業開発協同組合も含め、市内174店舗で利用できる商品券事業が定着している。商店街全体が一体となって経営戦略の取り組みを展開する必要があり、商工会の役割は大きい。空き店舗への家賃助成と修繕費助成と商店街活性化へのソフト事

業に上限20万円の助成制度を設けている。

更に、空き店舗、空き地対策として25年度中に方向性を見出し、条例化したいと考える。

問……………

街路灯を管理する商店街では、空き店舗が

平成23年度に総合計画後期計画で街路灯整備を計画したが、震災で一時中断している。

LED電球への交換等も含め、事業の実施を計画したい。また、維持管理の状況も再度調査し、商店街と協議しながら事業展開を図る。

高速道進展に伴う 関連市道の 条件整備は

問……………

高速道路の整備に伴い交通量が増加する中、周辺市道の高規格、光興寺上の山線、県道下組町クランクは危険度が増すのではと心配する。市民生活に配慮した対応をすべきでは。

答……………

宮守インター開通直後の沢田橋交差点付近の交通量は、6,000台だったが、3ヵ月後には6,890台と交通量が増えている。国道107号及び283号は朝夕の時間帯等混雑し、それを避けるために隣接市道等に迂回する車が増えている。現状の隣接市道等は

急カーブ、狭隘な路線で、大型車両のすれ違いが困難な箇所もある。市道未改良分65kmの整備を優先しなければならぬ。第4期生活に身近な道路整備事業計画、橋梁維持修繕計画により、市全体のバランス、交通量、緊急性等を考慮した市道改良整備に努める。

問……………

遠野インター開通後の遠野バイパスの信号機交差点などは渋滞が予想され、周辺市道の交通量が増えるのでは。早目の整備推進を。

答……………

現状を踏まえ、交通安全にも留意しなければならぬ。スピード感ある維持補修になお一層努めていく。

多田 勉 議員
(清風会)



商工会窓口での相談風景



渋滞する下鱒沢の沢田橋